

木になる風景

VOL.3

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

榧【イチイ科】

榧(カヤ)は、イチイ科カヤ属の常緑高木。主に温暖な地域に分布し、国内では福島県あたりが北限と言われています。榧の材木はやや黄色く特有の芳香を放つため、碁盤、将棋盤、連珠盤の材に使われ、木材の中で最高級品とされています。また、水腐れに強いことから風呂桶や彫刻などに用いられるほか、木造船の材料にも多く使われました。

天雄寺

明徳元(1390)年に開山した町内3ヵ寺の本寺。現在の本堂や山門などは、慶長遣欧使節船(サンファン・パウティスタ号)を建造した際の一部の木材が使われ建設されたのではないかと考えられています。観音堂前の榧の木は、高さ20m、樹周6mもある古木で、山門から本堂へ至る参道の正面に位置しており、参詣者は必ずこの榧の前を通り過ぎてから本堂へと至ることになります。本堂の屋根には、雄勝石のスレートが使われています。



天雄寺の榧

石巻市雄勝町

合併により新しく生まれ変わった石巻市の東端に位置する雄勝町は、
全国一の生産量を誇る雄勝硯や
南三陸の豊かな海産物に支えられ発展してきました。
狭い入り江が奥深くまで続く雄勝湾はあくまでも波穏やかにして、
周囲の山々の緑と紺碧の海が鮮やかなコントラストを描き出す
南三陸屈指の風光明媚な海浜タウンです。

アートの世界 雄勝石ギャラリー

石盤、スレート製造業を営む木村氏の旧宅を復元。雄勝石作家齋藤玄昌實氏の玄昌石絵や工芸品を多数展示しています。ギャラリーの近くには、現在も操業を続けているスレート製造工場やスペインの建物を彷彿とさせる木村邸などもあります。
お問い合わせ／☎0225(57)2151



硯ギャラリー内

齋藤玄昌實氏



産業会館

眺望も見どころ

石巻市雄勝硯伝統産業会館「展望室」

雄勝硯の歴史や工芸品の魅力を発信する拠点「石巻市雄勝硯伝統産業会館」。新館の5階には、町内を見渡すことができる展望室があり、休憩の場にはもってこい。
お問い合わせ／☎0225(57)3211

産業会館展望室からの眺望

サンファンゆかりの地

大原川と船戸橋

雄勝硯伝統産業会館に隣接し流れる大原川は、かつて伊達黒船(サンファン・パウティスタ号)を建造するため、船渠(ドック)として開削された人工の河川です。大原川にかかる船戸橋は、進水用に造られた「船門(水門)」跡で、船はここから海に進水しました。



船戸橋

ちょっと寄り道

お止山(現お留山)

呉壺は、伊達政宗公の遣欧使節団が乗り込んだ伊達黒船(サン・ファン・パウティスタ号)を建造したと伝えられている地で、ここには伊達藩のお抱え硯師だけが硯材の採掘を許された「お止山」があります。



雄勝中央公園

雄勝中央公園は、まちの背後の小高い丘の上にあり、木々の合間から町内と雄勝湾を遠望することができ、津波の際の避難場所にも指定されています。

プチグルメ 蒸しほや

ほやといえば「生」でいただくのが定番ですが、雄勝町では「蒸しほや」でもよく食べるのだとか。荒く切ったほやを蒸した後、冷凍で保存しておきます。解凍した後、軽く火であぶるとシコシコとした歯触り、ほやのうまみがギュッと凝縮され、酒の肴にもってこいの逸品です。



Event Information

秋はおいしいものや、美しい景色が盛り沢山。是非足を止めてお立ち寄りください。

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

10月 8日(土)～9日(日) **女川町** ●マリンバル女川シーパルII
ほたて祭り
☎ 0225-54-4714 マリンバル女川おさかな市場

16日(日) **石巻市** ●石巻港雲雀野埠頭

第4回港湾感謝祭

☎ 0225-95-1111 (内線487) 港湾感謝祭実行委員会

16日(日) **石巻市** ●おしかホエールランド前広場

おしかホエールランドまつり

☎ 0225-45-2114 社産総合支所産業振興課

16日(日) **石巻市** ●石巻魚市場

第17回いしのまき大漁まつり

☎ 0225-95-1111 (内線460) 大漁まつり実行委員会

30日(日) **石巻市** ●石巻小学校スタート・ゴール

第19回石巻シーサイドマラソン大会

☎ 0225-95-8998 石巻シーサイドマラソン大会実行委員会

30日(日)～11/3日(木) **石巻市** ●ビッグバン、メディアシップ
フェスティバル・イン・かほく2005

☎ 0225-62-4822 河北総合支所企画課

11月 12日(土)～13日(日) **女川町** ●マリンバル女川シーパルII
かき祭り
☎ 0225-54-4714 マリンバル女川おさかな市場

23日(水) **石巻市** ●サンファン・パーク

いしのまきかき祭り

☎ 0225-24-2111 石巻港漁業協同組合
0225-90-2131 石巻東部漁業共同組合

23日(水) **石巻市** ●おしかホエールランド前広場

おしかまるごと浜っこまつり

☎ 0225-45-2114 社産総合支所産業振興課

ご案内したのは



旅の終わりに

雄勝町インフォメーションセンター

町内で製造された硯や雄勝石クラフト、南三陸の新鮮な海の幸などを販売しています。

お問い合わせ／
☎ 0225(57)3339



ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

樺【ニレ科】

イラクサ目ニレ科ケヤキ属の落葉高木のケヤキ(樺)は宮城県のみ産であり、仙台市の青葉通りや定禅寺通りの並木として親しまれている木です。東アジアの一部と日本に分布し、日本では本州・四国・九州に分布し、比較的冷涼なところを好みます。堅くて摩耗に強く、木目が美しいことから、古くから家屋や家具の用材として用いられてきました。賀茂小鋭神社の樺は、樹齢推定350年、高さ35mにも達します。境内には、アカマツやヒノキの大木などが鬱蒼と生い茂り、神秘的な鎮守の森の風情を醸し出しています。

賀茂小鋭神社(延喜式内社)

桃生六座の一つで平安時代に設置され、古くは小田神となえ、小鋭神社と称していました。その後、京都の賀茂別雷神社の分霊を得て合祀され、それ以来賀茂小鋭神社と呼ぶようになったと市の教育委員会掲示板には記されています。奥の院に安置されている木造男神像は桂材一木造りで、鎌倉時代初期の作と伝えられています。作者は不明で、7体のうち5体は、宮城県指定有形文化財となっています。



木造男神像(写真提供:宮城県教育庁)



賀茂小鋭神社の樺

石巻市(旧河北町)福地地区

石巻市北部の国道45号にかかる「飯野川橋」手前から北上川に沿って雄勝方面へと向かう道を行くと、追波川に架かる「賀茂之橋」があり、その傍らの賀茂小鋭神社の鳥居脇には、一際大きな樺の木がそびえています。樹齢およそ350年、高35m、目通周囲5mにも達するこの古木は、地域のシンボルとして、また人々々の心の拠り所として大切に守られています。

冬になると白鳥が飛来する富士沼

土木遺産 福地水門

福地水門は、北上川と追波川との合流地点にあります。北上川の逆流を防ぐため、昭和初期に建設されました。当時、最先端の技術を駆使して作られた水門であったことから、2005年、土木遺産(社団法人土木学会)に認定されました。



奥州の名所 袖の渡し

横川集落入口の北上川沿いの土手に、一本の標柱が立っています。これは、平安時代にこの地が古歌にうたわれた奥州の名所だったことを伝えるもので、標柱には「みちのくの袖の渡りの涙川心の中にながれてぞすむ」(相模)という短歌が紹介されています。



室町末期、 山内(福地)左馬之介の居城 釣ノ尾城跡

「東奥老士夜話」によると、伊達政宗が徳川天下軍との決戦の最後の拠点「詰めの城」と想定されていました。かつて、ここには樺の大木があり、それを御神木として八幡神社が建立されました。その後、樺の大木は枯れてしまい、地域の人々の手によって新しい樺の苗木が植えられました。



ち ょ っ と 寄 り 道

道の駅「上品の郷」

道の駅「上品の郷」は、三陸自動車道「河北IC」から500mほどの国道45号沿いにあります。建物は、膜屋根や面格子を用いた独特の木造建築で、休憩施設、トイレ、地元特産品や農産物等の直売所、レストランのほか、温泉保養施設「ふたごの湯」も併設されており、同施設前には無料で入れる足湯も完備されています。



上品山

標高467.8mの上品山からは、平野を流れる北上川や栗駒山などの雄大なパノラマを眺めることができます。山頂付近は市営牧場となっており、放牧された牛がのんびりと草を食べる牧歌的風景を楽しむことができます。

フチグルメ ベッコウしじみ

北上川でとれるしじみは、大粒でベッコウ色に輝いているのが特徴です。濃厚なしじみエキスをたっぷり含み、ヘルシーで美味。飲食店では、「しじみ汁」や「しじみラーメン」、道の駅などの売店では「しじみクッキー」や「しじみアイス」などを味わうことができます。



Event Infomation

寒いこの季節に、美味しいものや美しい景色を見て心をホカホカにしよう！

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

1月

15日(日) 石巻市●サン・ファン館
第38回サン・ファン感謝デー「おでんフェスタ」
☎0225-24-2210 (サン・ファン館)

24日(火) 石巻市●名振地区
オメツキ
☎0225-57-3052 (雄勝公民館)

29日(日) 女川町●マリンバル女川お祭り広場
女川のまつり 冬のまつり
☎0225-54-4714 (マリンバル女川おさかな市場)

29日(日)~2/27日(月) 石巻市●サン・ファン館
慶長使節船写真コンクール作品展
☎0225-24-2210 (サン・ファン館)

2月

11日(土)~12日(日) 女川町●マリンバル女川シーバルⅡ
マリンバル女川シーバルⅡ かに祭り
☎0225-54-4714 (マリンバル女川おさかな市場)

19日(日) 石巻市●サン・ファン館
第39回サン・ファン感謝デー「海苔フェスタ」
☎0225-24-2210 (サン・ファン館)

3月

8日(水)~27日(月) 石巻市●サン・ファン館
県民共催写真展
☎0225-24-2210 (サン・ファン館)

18日(土)~19日(日) 石巻市●石巻市 明友館
明友館まつり
☎0225-95-8155 (明友館)

19日(日) 石巻市●サン・ファン館
第40回サン・ファン感謝デー「水産加工品フェスタ」
☎0225-24-2210 (サン・ファン館)

ご案内したのは



旅の終わりに

葦(ヨシ)の群生地

新北上大橋付近の北上川左岸に広がる「葦原」は、およそ10kmにも及ぶ日本有数の葦の群生地です。葦刈りや葦原の火入れ作業風景など、四季折々の風物詩で人々の目を楽しませてくれます。「残したい日本の音風景100選」にも選ばれています。



木になる風景

VOL.5

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

松【マツ科】

マツ科マツ属の針葉樹。庭木や盆栽によく用いられ、松竹梅(しょうちくばい)として長寿を表す縁起のよい木とされるなど、日本では最も馴染みの深い樹木の一つです。松は、世界中に100種類近くあり、我が国では、アカマツ、クロマツ、ヒメコマツ、ハイマツ、チョウセンマツ、ヤクタネマツなどが自生しています。通常、アカマツは低山帯、クロマツは海岸地帯、ヒメコマツ、チョウセンマツは深山帯、ハイマツは高山帯に自生しています。特に、クロマツの並木と美しい砂浜の海岸風景は、日本人の原風景の一つと言っても過言ではないでしょう。

くぐり 十八成浜

白砂青松という言葉がぴったりの十八成浜は、鳴き砂の浜としても知られています。石英質の細かな砂がこすれ合って、歩くと「キュッ、キュッ」と鳴ることから「ククと鳴る浜」としてその名が付けられたという説もあります。今では、遠浅で白い砂の美しい海水浴場として県内外から多くの人が訪れる人気のスポットになっています。



くぐり 十八成浜の松並木

石巻市(旧牡鹿町)十八成地区

紺碧の大海原へ大きくせり出した牡鹿半島は、複雑に入り組んだ海岸線と変化に富んだ景観により、南三陸金華山国定公園に指定されています。半島の突端の良港「鮎川浜」へと至るその手前の「十八成浜」には、鳴き砂で知られる美しい砂浜沿いには松の並木があり、白砂青松と呼ぶにふさわしい風光明媚な景色を描き出しています。



伝統の美に触れる 持福院観音堂

正式には「大悲殿」、大同元(806)年の創建と伝えられていますが、定かではありません。昭和32年に新しい収蔵庫ができるまで、十一面観音立像(国指定重要文化財)を安置していました。

親心の聖地 子供地藏

このお地藏様の台座は直径3mほどの青みかげ石で、およそ130年前のものと考えられています。古くから子供の厄払いの守り神として、夜泣きや虫除けにご利益があるとされ、今でも多くの人がお詣りに訪れています。



いにしえ人の苦心が忍ばれる 唐船御番所跡

鮎川の町を見下ろす小高い山の頂に、かつて仙台藩が黒船の来航を監視していた御番所がありました。今は公園として整備され、復元された御番所があります。



ち ょ っ と 寄 り 道

おしかホエールランド

鯨の生態や捕鯨の歴史を、映像・模型などを駆使して楽しく紹介する資料館です。実物のマッコウクジラ骨格標本をはじめ、珍しい鯨の鳴き声などを聞くこともできます。
お問い合わせ〇TEL.0225-45-3149



おしか家族旅行村オートキャンプ場

南三陸金華山国定公園の南端に位置し、目の前には太平洋に浮かぶ金華山の壮大な眺望が楽しめるキャンプ場です。きれいに整備されたオートキャンプサイトや広々空間のケビンなど、充実した設備が魅力です。
お問い合わせ〇TEL.0225-45-3420

プチグルメ くじら料理

捕鯨で栄えた鮎川浜には、数々のくじら料理があります。商業捕鯨が厳しく規制されている昨今、鯨肉は高級食材となりましたが、古くから日本人の貴重なタンパク源として食べられてきました。こうした郷土の食文化を末永く受け継いでいきたいものです。



Event Information

心地よい日差し、心地よい風が、楽しいイベントを運んできました。ご家族揃って出掛けてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

4月

15日(土) 女川町●マリンバル女川

マリンバル女川周年祭

☎ 0225-54-4711 (マリンバル女川)

4月上旬 石巻市●北上川

北上川ヨシ原火入れ

☎ 0225-67-2116 (北上総合支所産業振興課)

4月中旬から 石巻市●日和山公園

日和山観桜期間

☎ 0225-95-1111 (287) (石巻市商工観光課)

16日(日) 石巻市●広瀬地区

河南鹿嶋ばやし山車まつり

☎ 0225-73-3556 (山車まつり実行委員会・石垣さん)

5月

3日(水)～5日(金) 石巻市●神割崎

第13回南三陸潮騒まつり

☎ 0225-67-2116 (北上総合支所産業振興課)

4日(木) 女川町●マリンバル女川前

女川のまつり「春のまつり」

☎ 0225-53-4033 (女川のまつり実行委員会)

4日(木)～10日(水) 石巻市●金華山

金華山初巳大祭

☎ 0225-45-2301 (金華山黄金山神社)

20日(土)～21日(日) 石巻市●サン・ファンパーク

第13回サン・ファン祭り

☎ 0225-24-2210 (サン・ファン館)

ご案内したのは



木になる風景

VOL.6

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

タブノキ【クスノキ科】

タブノキは温暖帯林の代表的な広葉常緑樹で、海岸地方や丘陵地に多く生育しています。宮城県三陸沿岸にも多く見られますが、塚浜のタブノキは北限近くに生育する木としては極めて大きく、学術的にも価値が高いことから、昭和54年4月1日に町の天然記念物に指定されました。この地方では「モツノキ」と呼ばれますが、これは地元の呼び方でソゴ科に属するモチノキとは別の種類と、現地の説明書きにあります。樹高約12m、幹周り2.9m。

こぶつわん 五部浦湾

湾の東部から横浦、大石原、野々浜、飯子浜、塚浜の5つの集落があったことから「五部浦」と呼ばれるようになりました。江戸時代中期ころから沿岸漁業が盛んに行われ、終戦後には養殖漁業も行われるようになりました。女川町から石巻市牡鹿地区へと至る県道女川・牡鹿線を通るとき、内陸に大きく入り込みながら複雑な海岸線を描く五部浦湾の美しさに、多くの人が思わず目を見張ることでしょう。



塚 浜 の タ ブ ノ キ

女川町塚浜

牡鹿半島の付け根に位置する女川町から石巻市牡鹿地区方面へ向かうと、女川湾の大海原を左眼下に見下ろしながら大きく内陸に入り込んだ五部浦湾を回り込み、大貝崎の手前にある小さな塚浜集落へと至ります。塚浜は、山の蒼と海の青が緩やかに溶け合い、一幅の絵画を見ているような風光明媚なところです。

紺碧の海と白い砂

夏浜の鳴り砂

女川町の夏浜と小屋取浜は、踏みしめるとキュキュという音がする鳴り砂の浜です。また、おだやかな波と透き通った水の海水浴としても知られ、シーズン中は多くの海水浴客でにぎわいます。



おらがまち自慢

ワカメ養殖発祥の地顕彰碑

昭和28年、鹿島台村出身の大槻洋四郎(明治34年生)という人が、女川町小乗浜でワカメ養殖に成功したことから始まったとされています。小乗浜には東北大学の水産研究施設があり、その前の公園に顕彰碑が建立されています。

年に一度だけのご開帳

塚浜の太子像

明治23年に完成した塚浜の太子堂に、太子像が祀られています。この地を戦乱から守った白幡大納言の守り本尊として手長崎(塚浜地内)の岩松庵に安置されていましたが、寺が廃寺となり現地に祀られるようになったとされています。身の丈およそ80cmの柄ごうしを持った太子像は、全身がすすけて黒ずんではいますが、唇や目、衣のひだ部分に朱や一部金泥が残っています。毎年2月8日の早朝一時間だけご開帳されます。



ち ょ っ と 寄 り 道

女川原子力PRセンター ニュートンのリンゴの木

女川原子力PRセンターの駐車場わきには、ニュートンが万有引力の法則を生み出すきっかけとなったりんごの木(接木によって世界中に広められました)があり、毎年5月に可憐なりんごの花を咲かせます。また、スイートガーデンにはリンゴのほか、カキ、スモモ、イチジクやたくさんのお花々が植えられており、四季を通じて訪れる人の目を楽しませてくれます。
お問い合わせ〇TEL.0225-53-3410



女川温泉ゆぼっぼ

JR女川駅に隣接する天然温泉入浴施設「女川温泉ゆぼっぼ」は、今年の4月にオープンしました。泉質はカルシウム・ナトリウム塩化物泉・高張性アルカリ性低温泉。入浴料は大人500円(小学生は300円、小学生未満は無料)。足湯や岩盤浴、休憩室などの施設も充実しており、旅の疲れを癒すにはもってこいの場所です。

開館時間:午前9時～午後9時(最終受付時間午後8時30分)、定休日:毎週月曜日
お問い合わせ〇TEL.0225-50-2683

プ チ グ ル × かつおのだぶ漬け

女川町は、かつて削り節の産地として栄えました。その原料となるかつおを塩漬けにしたのが、かつおのだぶ漬けです。脂ののった新鮮なかつおを3枚におろし、多めの塩に漬け込みます。そのまま焼いて食べても美味ですが、焼いた身をほぐしてお茶漬けにしてもおいしいと地元の人が教えてくれました。



Event Infomation

いよいよ夏です。各地で行われる夏のイベント。団扇を片手に、ご家族揃って出掛けてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

7月

17日(月) 石巻市●サン・ファンパーク
サン・ファン親子ふれあいパーク
☎ 0225-24-2210(サン・ファン館)

29日(土)～30日(日) 女川町●女川海岸お祭り広場
女川みなと祭り
☎ 0225-53-4033(女川町商工観光課)

29日(土)～30日(日) 石巻市●金華山黄金山神社
金華山・龍(蛇)踊り
☎ 0225-45-2301(黄金山神社社務所)

8月

1日(火)～2日(水) 石巻市●北上川・市内中心部
石巻川開き祭り
☎ 0225-22-0145(石巻川開祭実行委員会)

3日(木) 石巻市●鮎川港一帯
牡鹿鯨まつり
☎ 0225-45-3456(123)
(牡鹿鯨まつり実行委員会)

6日(日) 石巻市●河北総合センター
サマーフェスタ・イン・かほく
☎ 0225-62-3161(石巻かほく商工会)

14日(月) 石巻市●雄勝シーサイドふれあい広場
おがつ夏まつり
☎ 0225-57-3077(石巻かほく商工会雄勝支所)

9月

9日(土)～10日(日) 女川町●マリンパル女川シーパルⅡ
マリンパル女川シーパルⅡさんま祭り
☎ 0225-54-4714(マリンパル女川シーパルⅡ)

9日(土) 石巻市●植立山公園
ものうふれあい祭り
はらこ踊りフェスティバル in ものう
☎ 0225-76-2111(桃生総合支所総務企画課)



木になる風景

VOL.7

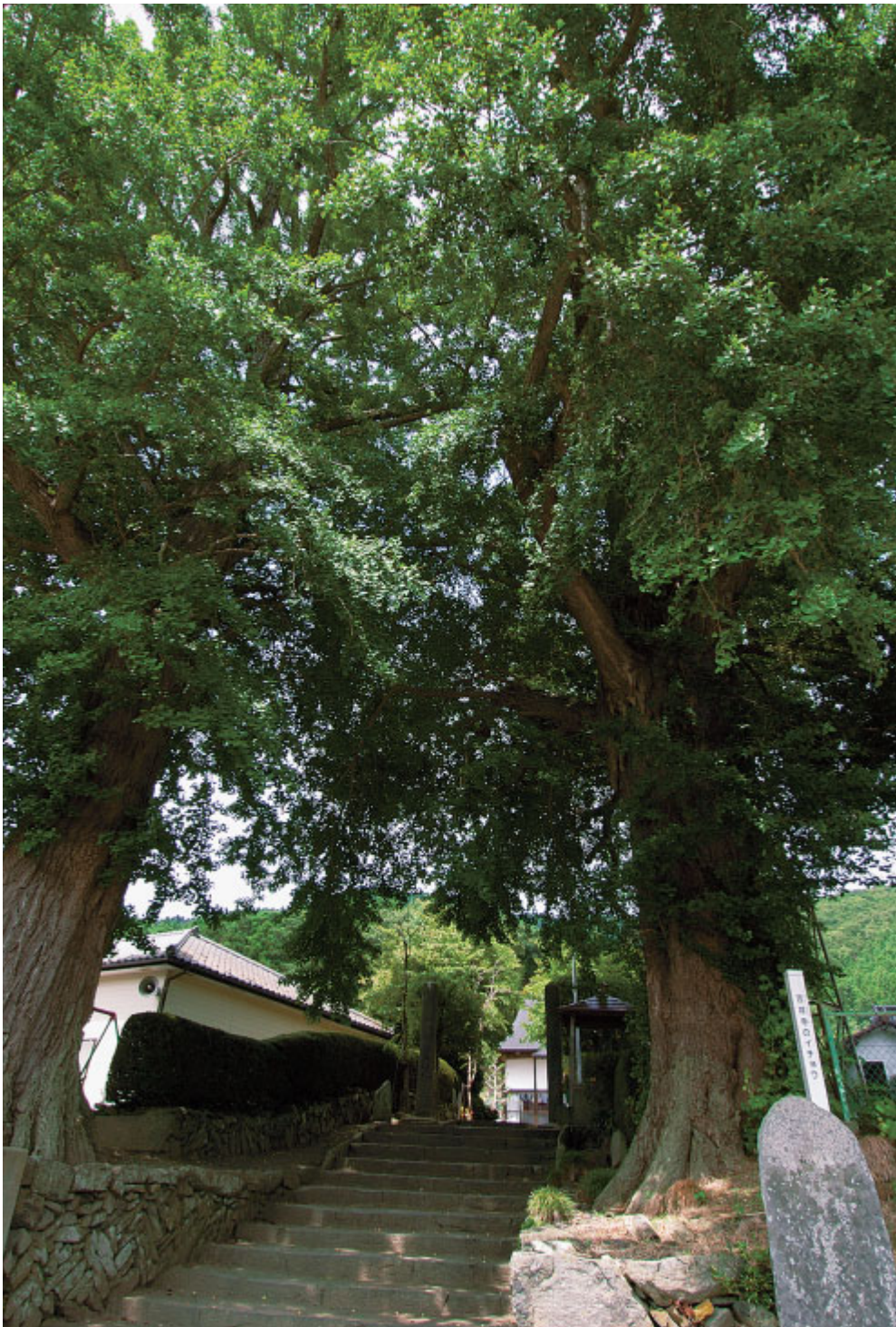
ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

イチョウ 銀杏【イチョウ科】

イチョウ科に属する裸子植物イチョウ類の中で、唯一現存する種。イチョウ属は17ほどありましたが、氷河期の頃に現存する一種を除いてすべて絶滅したとされています。日本には、平安時代から鎌倉時代にかけて中国より持ち込まれ、全国へと広まったと考えられています。吉祥寺の山門にそびえ立つ2本のイチョウの木(2本とも雌株)は、樹齢300年以上・高さ20m以上と推定され、石巻市内でも屈指の名木として市の文化財に指定(昭和55年12月20日)されています。また、吉祥寺の近くにある龍泉院の境内にも推定樹齢300年以上の見事な銀杏の大木があります。

い い ち っ く 稲井地区

縄文時代の遺跡「沼津貝塚」や井内石(仙台石)で知られる稲井地区は、明治22年に近隣の村が合併し誕生しました。稲井という村の名は、石材産出で著名な「井内」の音をとって、汲めども尽きぬ井水のように無限に米穀を産する意味で名づけたと言われていいます。昭和34年には、稲井町となり、昭和42年に石巻市へと編入され、現在に至ります。



き っ し ょ う じ い ち ょ う 吉祥寺の銀杏

石巻市稲井地区

稲井地区を流れる真野川沿いに広がる田園地帯はかつて一面の葦原に覆われた大原野で、「真野の葦原」として万葉の歌人たちに詠まれてきました。海のまち石巻市とは少し趣を異にする牧歌的な稲井地区には、いにしえ人の営みの痕跡がそこかしこに残っており、歴史のロマンを感じさせてくれます。



古代人の生活の痕跡

沼津貝塚

稲井の東部、沼津地区にある沼津貝塚は、明治42年から20年にわたり毛利総七郎、遠藤源七らによって発掘調査が行われ、土器・石器・獣骨・骨角器などの遺物が大量に発見されました。

これらの出土品は、毛利コレクションとして広く知られ、多くの研究者の論文資料として活用されました。現在は東北大学へ移管されているものもあります。沼津貝塚は、縄文時代前期から晩期までのさまざまな遺物が出土し、縄文時代の研究にとって重要な意味を持つことから、昭和47年10月に国の史跡に指定されました。



数々の歌に詠まれた歌枕の地

長谷寺「片葉の葦(あし)」

舎那山長谷寺(しゃなさんちようこくじ)は、藤原秀衡の創建とされる稲井地区最古の寺院で、山門前には、京の都を思いその方向にばかり葉をつけると言い伝えられる「片葉の葦」があります。昔、真野の入江一帯は一面葦葦の大原野で、この葦原の葦はなぜか西の方向へ向かって片葉をつけていました。「片葉の葦」は歌枕としてしばしば和歌に詠まれ、平安の歌人藤原定家も『露わけむ 秋の朝気は遠からで 都は幾日まのの葦原』と詠んでいます。



手軽な市民のハイキングコース

京ヶ森ハイキングコース

中世の軍事施設と考えられている「京が森館跡」は、山頂部におよそ300万平方メートル山腹を切り出し平地とし、その西側に土塁のような小高い場所も見受けられます。

およそ50分の山道を行くと、山頂からは万石浦から石巻湾一帯をはじめ金華山方面、矢本・鳴瀬方面、上品山など、360度の美しい眺望が開け、気軽なハイキングコースとして市民に親しまれています。



ち ょ っ と 寄 り 道

牧山市民の森

かつて鬼が出るという言い伝えのあった牧山(魔鬼山)は、フィールドアスレチックやバーベキューハウスなどの設備が充実した市民の憩いの森です。山頂にある零羊崎神社は、初夏になると約300種3000株のアヤメが咲く名所として有名です。また近くには、奥州三観音の一つである「牧山観音」を安置する梅溪寺もあります。



聖使徒イオアン会堂

旧石巻ハリストス正教会教会堂

明治13年に建設された旧石巻ハリストス教会堂は、長崎の大浦天守堂に次ぐ古さで、現存する木造教会では国内最古の建物です。ビザンチン様式を日本風にアレンジした八角形の外観等が特徴となっています。昭和53年の宮城県沖地震で被害を受けたため取り壊す予定でしたが、石巻建青会などの市民が移築復元の運動を行い、昭和55年に竣工。石巻市に寄付され同年12月石巻市指定文化財に指定されました。

ブチグルメ 小女子

小女子はメロウドの稚魚で、正式にはイカナゴ。春になると、小女子をとるランプ漁が解禁になります。とある魚屋のご主人の話では、生食で小女子を食べるこの時期が本当の小女子の旬と言います。

石巻市の福貴浦漁港(鹿立地区)では、毎年5月に「小女子祭り」を開催しています。牡鹿半島の小さな漁港は、旬の味を楽しもうと訪れた大勢の人でにぎわいます。



Event Information

見渡す景色が美しく彩り、私たちの目を
楽しませてくれるこの季節。美味しい食
べ物を片手にお出かけしてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、
お出かけ前にご確認ください。

10月

8日(日) 石巻市●雄勝シーサイドふれあい広場
おがつホタテまつり
☎ 0225-57-2211(雄勝湾漁業協同組合)

14日(土)～15日(日) 女川町●マリンバル女川
ほたて祭り
☎ 0225-54-4714
(マリンバル女川事業協同組合事務局)

15日(日) 石巻市●石巻魚市場
第18回いしのまき大漁まつり
☎ 0225-95-1111(460)
(大漁まつり実行委員会[市水産課内])

11月

3日(金) 石巻市●河北総合センター
かほく産業まつり
☎ 0225-62-2114(かほく産業まつり実行委員会)

15日(水)～12月10日(日) 石巻市●雄勝硯伝統産業会館
硯のふるさと「アート・オブ・ストーン展」
☎ 0225-57-3211(雄勝硯伝統産業会館)

23日(木) 石巻市●サン・ファンパーク
石巻かき祭り
☎ 0225-24-2111(石巻かきブランド化事業委員会)

23日(木) 石巻市●おしかホエールランド前広場
おしかまるごと浜っこまつり
☎ 0225-45-2114
(おしかまるごと浜っこまつり実行委員会)

12月

9日(土)～25日(月) 石巻市●サン・ファンパーク
サン・ファンイルミネーションツリー
☎ 0225-24-2210(サン・ファン館)

16日(土)～17日(日) 石巻市●石巻市内
いしのまき市産品まつり
☎ 0225-93-6448
(いしのまき市産品まつり実行委員会)

27日(水) 女川町●マリンバル女川
女川町水産まつり
☎ 0225-54-4711(マリンバル女川)



前号7月号「木になる風景」の記事の一部に誤りがありました。
正しくは次のとおりです。お詫びして訂正します。
●塚原のタブノキ／石巻市牡鹿地区塚原→女川町塚原
●おらがまち自慢／大概洋子郎→大概洋四郎

木になる風景

VOL.8

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。



杉【ヒノキ目・スギ科】

スギはヒノキ目スギ科に属する常緑高木で、日本で最もポピュラーな針葉樹木の一つです。柔らかく加工しやすいため、古くから建築用材に用いられ全国各地で広く植林が行われています。

龍澤寺の杉並木

龍澤寺は、雄勝にある天雄寺の末寺として永禄2(1559)年に開山されました。参道の杉並木は、第八世住職の時代に千数百本の杉の木を植林したもので、現在は30本ほどが残っています。樹齢およそ400年の見事な杉の大大木群は、石巻市の文化財に指定されています。



龍澤寺

龍澤寺の杉並木

石巻市雄勝町立浜

太平洋に突き出した雄勝の半島を周遊する道路を巡ると、雄大な海原を見ながら入り組んだ海岸線の変化に富んだ眺望を堪能することができます。青く澄み渡った大空に高くそびえる白亜の大須崎灯台や、ときめき夢半島(峠崎)から眺めると、まるでひょっこりひょうたん島を思わせる八景島など、見どころ豊富な格好のドライブコースです。



太古の営みを今に伝える 雄勝荒魚竜化石群

夏になると、多くの海水浴客で賑わう荒浜海水浴場。この海岸一帯に露出する岩盤は、三疊紀前期(2億4000万年前)のものと考えられ、雄勝荒魚竜化石は歌津魚竜と並び世界で最も古い年代のものであり、学術的にも価値が高いことから石巻市の文化財に指定されています。



海を行き交う人々の拠り所 大須崎灯台

雄勝の半島の最も東端に位置する大須集落の高台には、人々の暮らしを見守るように白亜の大須崎灯台がそびえています。昭和24年9月に初めて灯火がつき、以来およそ半世紀にわたって航行する船の拠り所となってきました。

貴重な暖地性植物群落の北限地 八景島

名振湾に浮かぶ八景島は、全島がユズリハやモチノキなどの暖地性常緑樹に覆われており、その希少性から昭和39年6月27日に国の天然記念物に指定されました。写真の手前にある小島が小八景島、その奥のひょうたん型の大きな島が八景島です。



ちょっと寄り道

雄勝峠崎自然公園(恐竜ランド)

雄勝峠崎自然公園は、総延長200mのローラーすべり台と恐竜をモチーフにして作られた木製遊具のある公園です。園内はよく手入れされた芝生で、お弁当を広げながら楽しく遊ぶことができます。



白銀崎

白銀崎は、外洋に面した雄大な海原と海岸線まで迫った山々が、荒々しい岩壁や怪奇な岩礁がつくった絶景の地として、「みやぎ新観光名所100選」に選ばれています。岬の突端には白銀崎灯台があり、灯台へ至る道沿いには和銅年間(708~715)に百済から帰化し陸奥守に任じられた王敬福によって祀られたと伝えられる白銀神社もあります。

フチグルメ 牡蠣

グリコーゲンを多く含み「海のミルク」とも呼ばれるカキは、言わずと知れた宮城県特産の一つです。およそ300年前、松島湾でカキの養殖が始められ、以来養殖技術の改良を重ねながら全国2位の生産量を誇るまでになりました。カキフライや焼きガキ、カキご飯など、食べ方は色々ありますが、やはり新鮮なカキを生でいただくのが一番贅沢な食べ方と言えるでしょう。また、雄勝湾漁協では「岩ガキ」の種苗化に成功。新たな特産品として期待されています。



Event Information

寒いこの季節に、食で楽しみ、目で楽しみ心も体も温めよう！

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

1月

1日(月) 石巻市●石巻市桃生総合支所前
元旦マラソン祭り
☎ 0225-76-4535(桃生公民館)

7日(日) 石巻市●総合体育館
10,000人寒げい古
☎ 0225-95-8998(総合体育館)

13日(土)~14日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ たら祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)

24日(水) 石巻市●雄勝名振地区
おめつき
☎ 0225-57-3052(雄勝公民館)

28日(日) 女川町●マリンバル女川お祭り広場
女川のまつり 冬のまつり
☎ 0225-53-4033(女川町商工観光課)

28日(日) 石巻市●桃生公民館
桃生地区芸能祭
☎ 0225-76-4535(桃生公民館)

2月

5日(月) 石巻市●河北釜谷地区
釜谷の水かぶり
☎ (代表) 0225-62-2111
(河北総合支所総務企画課)

10日(土)~11日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ あんこう祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)

3月

10日(土)~11日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ かに祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)



木になる風景

VOL.9

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

高野槇【コウヤマキ科】

マツ目コウヤマキ科に属する高野槇は、日本固有種の常緑針葉樹で高さ30m以上になる高木です。別名ホンマキ。九州から東北南部の山地に野生しスラリとまっすぐ伸びるのが特長で、庭園の植栽や材木としても使われ、世界三大造園木のひとつとされています。源光寺の高野槇は、推定樹齢およそ350年、樹高25m超で、飯野川葛西氏の初代俊信が江戸参勤交代の際、持ち帰って植えたとされています。悠仁親王のお印ともなりました。

源光寺

貞松山無量院源光寺は、今からおおよそ370年前、寛永12(1635)年に、奥州総奉行に任じられその後滅亡した葛西氏の後裔である葛西重常の父の晴信の菩提を弔うために建てられたお寺です。境内には、高野槇の根元付近に、葛西氏の御霊屋や再興後伊達家の家臣となった飯野川葛西氏の初代～七代までのご家族の墓所があります。また、本堂のすぐそばには樹齢400年以上と推定される見事な榎の大木があります。



源光寺



源光寺の高野槇

石巻市河北地区

石巻市河北地区は、東北一の大河・北上川の恩恵をうけ今日まで下流域の文化とおおらかな風土を育んできました。北上川左岸に位置する飯野川地区には、人々の繁栄の歴史を物語る遺構が数多く遺っており、訪れる人のところにそっと語りかけてきます。



地方豪族の栄枯盛衰が偲ばれる

葛西氏御霊屋

鎌倉時代、源頼朝より奥州総奉行に任じられ、およそ400年にわたり石巻の日和山に本拠を構え地方大豪族として栄えた葛西氏。豊臣秀吉の奥州仕置により滅亡しますが、伊達政宗によって再興を果たし、飯野川のまちづくりなどを行いました。源光寺にある御霊屋には、初代俊信から七代清常までの墓があります。



県指定の民俗芸能

皿貝法印神楽

大日靈(おおひるめ)神社宮司の及川家口伝によると、元和2(1616)年、成就院(現大日靈神社)の法印だった久峯重光が、京に上った際に取得した能を原型に、『古事記』を台本として編み出したものと伝えられています。皿貝地区にある大日靈神社の奉納舞として氏子たちによって大切に守り継がれ、平成2(1990)年1月26日県指定民俗文化財(民俗芸能)に指定されました。



古代人が築いた一大群集墳

和泉沢古墳群

和泉沢古墳群は、和泉沢地内の北上高地の南麓に位置し、9世紀～10世紀初めごろに造られた50基ほどの小円墳が密集しています。ほとんどが、直径3～9m・高さ1mほどの小さな古墳で、鉄斧、鉄鎌・底部に回転糸切り痕のある須恵器・土師器などの副葬品も出土しています。



ちょっと寄り道

亀が森公園

石巻市河北総合支所にほど近い場所にある亀が森八幡神社前には、北上川が大きく蛇行し流れる雄大なパノラマを見ることができる亀が森公園があります。春は桜の名所として、大勢の花見客で賑わいます。



プチグル×セリ



北上川左岸から少し山間に位置する皿貝地区では、セリの栽培が盛んに行われています。北上高地に降った雨水が地中深く浸透しこの地域一帯で湧き出ます。そのため水温が一年を通して一定に保たれ、セリの栽培に適しているのだとか。地元の方に聞くと、セリの一番おいしいシーズンは桜の咲く4月頃で、まさにこれから旬を迎えます。

Event Information

待ちに待った春。風が心地よく感じるこの季節に、楽しいイベントが盛りだくさん！ご家族揃って出掛けてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

4月

4月上旬～中旬 石巻市●北上川

北上川ヨシ原火入れ

☎0225-67-2111
(石巻市北上総合支所産業建設課)

14日(土)～15日(日) 女川町●マリンバル女川

大創業祭

☎0225-54-4711
(マリンバル女川)

4月中旬～下旬 石巻市●日和山公園

日和山観桜期間

☎0225-95-1111
(石巻市産業部商工観光課)

15日(日) 石巻市●石巻市広瀬地区

河南鹿嶋ばやし山車まつり

☎0225-72-2111
(石巻市河南総合支所産業振興課)

5月

3日(木)～5日(土) 石巻市●神割崎イベント広場

南三陸潮騒まつり

☎0225-67-2111
(北上総合支所産業建設課)

10日(木)～17日(木) 石巻市●金華山

金華山初巳大祭

☎0225-45-2301
(金華山黄金山神社)

19日(土)～20日(日) 石巻市●サンファンパーク

サン・ファン祭り

☎0225-24-2210
(サン・ファン館)



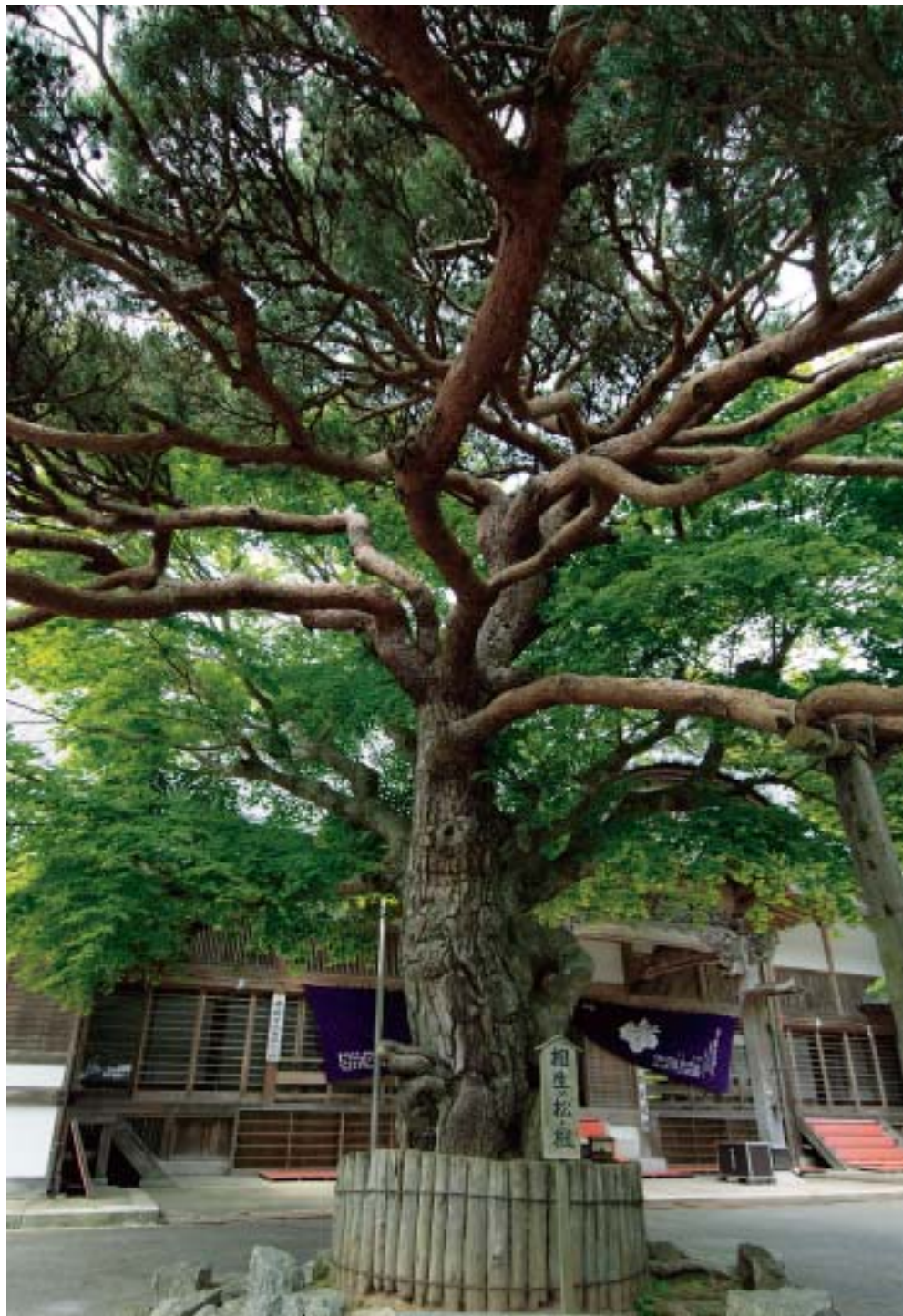
ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

楓【カエデ科】

楓とは、一般的にカエデ科カエデ属の木を総称して使われています。日本ではモミジとも呼ばれ、童謡の中でも歌われるなど、日本の紅葉の代名詞的存在となっています。中でもポピュラーなのがイロハカエデで、本州中部以南の山野に自生しているほか、庭木としても広く栽培されています。

金華山と黄金山神社

金華山は、古くは万葉集にも詠われ、金の産出地として信じられてきましたが、実際には金は産出されていませんでした。また、中世以降は修験道場となり、その後も多くの人々の信仰をあつめました。黄金山神社は、金華山の西岸より少し山手に入ったところにあり、金華山神社とも呼ばれています。黄金山神社の境内には、「相生の松と楓」という珍しい古木があります。松と楓が抱き合うように互いの木が絡みながら生長している様子から、その名が付けられたと伝えられています。



相生の松と楓

石巻市鮎川浜 金華山

牡鹿半島の南東およそ1kmの太平洋上に浮かぶ金華山は、古くから信仰の島として人々の崇敬を集めてきました。島の周囲は約26km、温暖な気候の島内には野生の猿や鹿が生息し、標高445mの金華山山頂からは遠く仙台市や蔵王山系も遠望できる豊かな自然と変化に富んだ景観美が魅力の島です。

江戸時代の金華山信仰を今に伝える 一ノ鳥居

牡鹿半島にある一ノ鳥居は、金華山へ詣でるための参道入口にあった鳥居で、天保14(1843)年に稲井石でつくられた重厚な鳥居です。当時、金華山は女人禁制だったため、女の人はここで参りして引き返したと言われています。



これぞ自然の造形美 大函崎

島の東岸に位置する大函崎は、海によって浸食されてできた高さ60mほどの断崖絶壁で、ウミウが生息しています。崖の上は芝でおおわれ、一帯が公園になっています。大函崎の近くには小函崎や千畳敷、賽の河原など、自然が創り出した雄大な景色を楽しむことができます。

修験者たちの信仰の石 天柱石

金華山弁財天が垂迹(すいじゃく)した場所で、金華山第一の名石と讃えられています。昔は水晶石とも呼ばれていました。修験者の信仰の地でもあり、参詣者はこの巨岩の上に賽銭を投げあげて祈願しました。



ちょっと寄り道

黄金山神社のまつり

黄金山神社では一年を通してさまざまな祭礼が行われますが、中でも5月中旬の初巳大祭(はつみたいさい)と7月下旬の龍神祭、そして10月上旬の神鹿角切り(しんろくつのきり)行事祭は盛大に行われます。写真は、初巳大祭の御輿渡御(みこしとぎょ)の様子。



金華山灯台

金華山灯台は、明治9(1876)年に完成した石造の灯台です。日本の灯台の父と呼ばれたリチャード・ヘンリー・ブランドンによる設計で、「日本の灯台50選」にも選ばれています。

プチグルメ メロウドの一夜干し

メロウドは、別名「春告魚」とも呼ばれ、2月1日から6月末日まで南三陸沖で漁が行われています。標準和名は、イカナゴ。2〜3日天日干しにしたメロウドを軽くあぶると、ほんのり広がる苦みとプリプリとした身の舌触りが食欲を刺激します。



Event Information

いよいよ夏です。
各地で行われる夏のイベント。
ご家族揃って出掛けてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、
お出かけ前にご確認ください。

7月 7日(土)〜8日(日) 石巻市●おしかホエールランド
●河北総合センター
全国鯨フォーラム2007
☎ 0225-95-1111(568) (鯨フォーラム2007石巻実行委員会)

28日(土)〜29日(日) 女川町●女川海岸お祭り広場
女川みなと祭り
☎ 0225-53-4033 (女川町商工観光課)

8月 1日(水)〜2日(木) 石巻市●北上川・市内中心部
石巻川開き祭り
☎ 0225-22-0145 (石巻川開祭実行委員会)

5日(日) 石巻市●おしかホエールランド
おしか鯨まつり
☎ 0225-45-2111(123) (牡鹿総合支所産業建設課)

5日(日) 石巻市●河北総合センター
サマーフェスタ・イン・かほく
☎ 0225-62-3161 (石巻かほく商工会)

11日(土)〜12日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルII
マリンバル女川シーパルII夏祭り
☎ 0225-54-4714 (マリンバル女川シーパルII)

13日(月) 石巻市●北上総合支所駐車場
にっこり夕市
☎ 0225-67-2114 (北上総合支所産業建設課)

14日(火) 石巻市●雄勝シーサイドふれあい広場
おがつ夏まつり
☎ 0225-57-3077 (石巻かほく商工会雄勝支所)

9月 8日(土) 石巻市●植立山公園
ものうふれあい祭り
はねこ踊りフェスティバルinものう
☎ 0225-76-2111 (桃生総合支所総務企画課)

8日(土)〜9日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルII
マリンバル女川シーパルIIさんま祭り
☎ 0225-54-4714 (マリンバル女川シーパルII)



木になる風景

VOL.11

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。



杉【ヒノキ目・スギ科】

スギはヒノキ目スギ科に属する常緑高木で、日本で最もポピュラーな針葉樹木の一つ。柔らかく加工しやすいため、古くから建築用材に用いられ全国各地で広く植林が行われています。町の天然記念物に指定されている夫婦杉は、樹齢300年以上と推定されます。根元から大きく張り出した幹が樹勢の良さを物語っており、圧倒的な存在感を誇っています。

三十三観音遊歩道

三十三観音碑は、独国和尚が、文政7(1824)年に五穀豊饒や天下泰平を祈願して三十三基の観音碑を建立したことにはじまり、以来、信仰心の厚い地元の人々によって大切に守られてきました。そして、平成4年に、新しく約1.8kmの遊歩道を整備。歴史探訪や自然散策の道として親しまれています。



三十三観音遊歩道の夫婦杉

さん じゅう さん かん のん ゆう ほ どう め お と すぎ

女川町女川浜

女川町の海方面から、山手に足を向けると、そこには豊かな山林が広がります。近年まで、魚を入れる木箱の用材や鰹節をつくる際の燃料として木の需要が高かった女川では、林業もまちの重要な産業の一つでした。そして、よく手入れのされた山林から染み出た滋養が女川湾に流れ込み、豊かな漁業資源を育ててきたのです。

女川の観音信仰の聖地 波切不動尊と展望台

三十三観音遊歩道の昇り口には、船舶航行の安全に御利益があるとされる波切不動尊があります。そして、1番から3番碑を見ながら急な山道を600mほど登ると、女川湾を一望できる展望台へと至ります。展望台から32番碑のある夫婦杉まではさほど険しくない山道です。夫婦杉からスタート地点の昇り口までは、一気に山を下る細い道が続きます。



文豪の足跡を偲ぶ 高村光太郎文学碑



彫刻家であり詩人でもあった高村光太郎は、時事新報社の紀行文「三陸廻り」の仕事で、昭和6年8月に女川町を訪れています。その時の様子は、時事新報の夕刊に掲載され、また、後に女川の名を詠み込んだ詩「よしきり鮫」も発表しています。町営海岸駐車場北側の海岸公園に建立された光太郎の記念碑には、「三陸廻り」から抜粋した文章や、「よしきり鮫」、「霧の中の決意」の自筆原稿が刻まれています。

崎山展望公園と グレー大尉記念碑

崎山展望公園は、女川湾の北側に位置し、展望台からは、女川湾、五部浦湾、江島など、三陸ならではの入り組んだ海岸美を堪能できます。また、た、公園内には、女川湾で戦死したカナダの海軍のパイロット・グレー大尉の記念碑もあります。



ちょっと寄り道

女川町総合運動公園

広大な敷地に野球場や陸上トラック、テニスコート、総合体育館、フィールドアスレチック場などを有する圏域屈指のスポーツ施設。さまざまな運動競技会が行われるほか、週末にはファミリーやカップルなどの憩いの場ともなっています。



プチグルメ サンマ

全国有数のサンマの水揚げ高を誇る女川。10月には「おながわ秋刀魚収穫祭」が催されるなど、秋の女川はサンマ一色に。鮮度が落ちやすいサンマは、塩焼きが定番ですが、近頃は、保冷技術や運送体制の発達などにより、全国各地で刺身でも食べられるようになりました。どんなレシピとも相性の良いサンマは、まさに日本の国民食と言っても過言ではないでしょう。



Event Information

食べ物の美味しい秋。そして芸術の秋。
各地で行われるイベントを
心のキャンパスに描いてみませんか？

※日程などは変更になることがありますので、
お出かけ前にご確認ください。

10月

7日(日) 女川町●女川町地方卸売市場特設会場
おながわ秋刀魚収穫祭2007
☎ 0225-53-4455(買受人協同組合)

14日(日) 石巻市●雄勝シーサイドふれあい広場
第12回おがつホタテまつり
☎ 0225-57-2211(雄勝湾漁業協同組合)

21日(日) 石巻市●石巻魚市場
第19回いしのまき大漁まつり
☎ 0225-95-1111[内線460](大漁まつり実行委員会)

21日(日) 石巻市●にっこりサンパーク
第10回にっこりまつり
☎ 0225-67-2114(北上総合支所産業建設課)

28日(日) 石巻市●石巻小学校スタート・ゴール
第21回石巻シーサイドマラソン大会
☎ 0225-95-8998(石巻シーサイドマラソン大会実行委員会)

11月

23日(金) 石巻市●サン・ファンパーク
第8回いしのまきかき祭り
☎ 0225-24-0391(石巻かきブランド化事業委員会)

12月

23日(日) 石巻市●サン・ファン館、サン・ファンパーク
ファンタジーフェスタ
☎ 0225-24-2210(サン・ファン館)

27日(木) 女川町●女川町地方卸売市場
第26回女川町水産まつり
☎ 0225-54-3131(女川町水産農林課)

29日(土) 石巻市●北上総合支所
にっこり歳の市
☎ 0225-67-2114(北上総合支所産業建設課)



木になる風景

VOL.12

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

ツツジ 躑躅【ツツジ科】

古来、日本ではサツキやシャクナゲとツツジを分けて呼んでいますが、多くはツツジ科の植物であり、学術的分類と食い違うことが多いと言われています。ツツジ属の植物は世界に850種ほどが確認されており、最も古い木では樹齢1000年にもなると推定されています。日本では観賞用として庭園や公園、街路の植え込みなどに多く用いられている最も馴染み深い植物の一つと言えます。

桜の名所として知られる日和山公園にはおよそ460株のツツジが植えられ、桜のシーズンが終わる5月から見頃を迎えます。

日和山公園

日和山は標高56mほどの小高い山で、旧北上川河口にほど近い日和が丘地区にあります。山頂からは旧北上川の雄大な流れや石巻湾の大海原を眺めることができます。同公園はサクラ、ツツジの名所としても知られ、毎年4月～5月の開花時期には大勢の花見客で賑わいます。



日和山公園のツツジ

石巻市日和山公園

多くの文人墨客が訪れ、その眺望を讃えた日和山。
眼下には旧北上川がゆったりと流れ、
河口の向こうには太平洋の大海原が広がります。
偉人たちはこの雄大な景色と対峙しながら思索にふけり、
詩や文学にその思いを記したのです。

日和山公園の文学碑

日和山公園には松尾芭蕉、保原花好、石川啄木、宮澤賢治、斎藤茂吉、種田山頭火、釈迦空、新田次郎、山形敏一などの文学碑をはじめ、川村孫兵衛、芭蕉と曾良の2人像などがあります。また、日和山公園は吉田松陰、志賀直哉、井伏鱒二、廣津和郎、宇野浩二など、歴史に名を残す多くの著名人が訪れたと伝えられています。



旧毛利邸

石巻の毛利家は、江戸時代に住吉米蔵の蔵守をしていました。幕末、会津から敗走してきた土方歳三や榎本武揚らが毛利家に一時身を寄せたと伝えられ、彼らが滞在した部屋の柱には、土方が付けたと言われる刀傷の跡が今も残っています。

鑄銭場

江戸幕府は急速に発展する貨幣経済に対応するため、寛永13年(1636)に寛永通宝を鑄造し通貨統一を図り、全国各地に貨幣をつくるための鑄銭場を設けました。仙台藩では栗原郡の三迫で鑄造されていましたが、享保13年(1728)、舟運によって原料や燃料の調達しやすい石巻に移され、明治の鑄造廃止まで年間最大178,000貫ほどの貨幣がつくられました。



ちょっと寄り道

ロマン海遊21 (石巻市観光物産情報センター)

石巻の観光情報の発信基地として誕生したロマン海遊21。石巻圏域の観光情報やイベントガイドをはじめ、地域の物産品などが揃っており、石巻圏域の観光拠点として利用できます。JR石巻駅前にあります。



フチグルメ 生のり

海苔はほぼ全国各地の海でとることができる。傷みの早いデリケートな食材で、干して板海苔に加工したり佃煮に加工することが多い。日本食の中でもポピュラーな食材の一つといえる海苔は、三陸沿岸でもよくとれる。冬の期間だけ味わえるのが、生のりである。独特の磯の風味とシャキシャキとした食感は、まさに冬の到来を告げてくれる旬の味覚と言える。



Event Information

吐く息が真っ白なこの季節。そんな時は、イベントに参加し心を温めて寒さを乗り切りましょう！

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

1月

12日(土)～13日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ たら祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)

20日(日) 石巻市●サン・ファンパーク
おでんフェスタ
☎ 0225-24-2210(サン・ファン館)

24日(木) 石巻市●雄勝名振地区
おめつき
☎ 0225-57-3052(石巻市雄勝公民館)

27日(日) 女川町●マリンバル女川お祭り広場
女川のまつり「冬のまつり」
☎ 0225-53-4033(女川町商工観光課)

2月

9日(土)～10日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ あんこう祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)

3月

8日(土)～9日(日) 女川町●マリンバル女川シーパルⅡ
マリンバル女川シーパルⅡ かに祭り
☎ 0225-54-4714(マリンバル女川シーパルⅡ)

下旬 石巻市●石ノ森萬画館、市内中心市街地
マンガッタンライナー6周年記念イベント
☎ 0225-96-5055(石ノ森萬画館)

ご案内したのは



木になる風景

VOL.13

ときに華やかに、ときに気高く
ときには、またいとおしく…。
土地に根をおろし年月とともに
さまざまな表情を見せ、
人々の営みを見つめてきた木。
木と人々が連綿と培ってきた
その土地の歴史、文化を訪ねます。

枝垂れ桜【バラ科】

日本国内では、江戸末期に開発された染井吉野(ソメイヨシノ)が街路の桜並木や学校校庭の周囲に好んで植えられ、サクラの代名詞ともなっています。一方、枝垂れ桜はエドヒガンの一変種で、細い枝が垂直に垂れ下がるように伸び、枝に淡紅色の花を咲かせます。樹齢は長く、日本三大桜の一つに数えられる福島県三春町の「滝桜」は、樹齢1000年以上とも言われています。

新山神社

新山神社は石巻市雄勝地区の中心街のほぼ真ん中に位置し、雄勝小学校と隣接しています。境内には、数本の枝垂れ桜の古木があり、4月上旬～中旬(年によって異なります)に花を迎えます。また、雄勝小学校の校庭にも見事な桜の並木があり、児童の成長を見守り続けています。



新山神社の枝垂れ桜

石巻市雄勝地区

モノトーンの風景が色とりどりの花々に彩られ、
一年で最も美しい季節を迎える雄勝の春。
新山神社では、桜の古木たちが競うように可憐な花を咲かせ、
いつもは静かな境内に、花見客の歓声が響きわたります。

釜谷トンネル

昭和61(1986)年3月に完成した釜谷トンネルは、河北地区と雄勝地区を結ぶ国道398号釜谷峠にあります。幅8.5mで、延長は995m。このトンネルができる以前は、釜谷峠の狭い峠道を利用していましたが、このトンネルが開通したことによって雄勝地区の交通の利便性は大幅に改善されました。



波板海水浴場

波板海水浴場は、雄勝の街中から国道398号を南下し、女川町との市境手前の波板地区にある海水浴場です。海水浴客で混雑することなく、美しい砂浜と穏やかな波を独り占めできそうな小さな海水浴場ですが、入り江は漁港としても使われており、地元の方々の邪魔にならないようマナーを守ってご利用ください。



天雄寺観音堂

天雄寺境内にあり、江戸時代中期頃に建立されたと推定されている古い観音堂。お堂は明和初年頃に火事によって焼失してしまったため、明和3(1766)年に再建されたとされています。現在、石巻市の文化財に指定されています。(昭和52年、旧雄勝町指定)



ちょっと寄り道

雄勝森林公園

硯上山のふもとに位置し、豊かな自然に囲まれた公園。園内にはコテージ、炊事場、テントサイト、バーベキューハウスなどが完備されています。また、木製遊具が設置された中央の芝生広場の周囲には、100種類以上の植物が植えられているほか、ウサギなどの小動物のミニ動物園もあります。



フチクルメ 味噌作の清水

雄勝森林公園へと向かう途中、道ばたの崖から3本の清水が湧き出ています。この清水は地元の人たちの飲み水として古くから利用されてきましたが、さまざまな機会で紹介されるようになり、最近では遠方からも水を汲みに人々がやってくるようになりました。



※飲用の適格性に関する調査は行われていませんので、煮沸するなどしてからご使用することをお勧めします。

Event Information

待ちに待った春。風が心地よく感じるこの季節に、楽しいイベントが盛りだくさん!ご家族揃って出掛けてみませんか?

※日程などは変更になることがありますので、お出かけ前にご確認ください。

4月

3月15日(土)～6月29日(日)
石巻市●石ノ森漫画館
「漫画の国・いのまき」石ノ森漫画館
第36回特別企画展やなせたかしの子どもたち
(キャラクター)展
☎0225-96-5055(石ノ森漫画館)

12日(土)～13日(日)
女川町●マリンパル女川シーパルⅡおさかな市場
マリンパル女川しらす祭り
☎0225-54-4714(マリンパル女川事業協同組合)

12日(土)～5月26日(月) 石巻市●雄勝硯伝統産業会館
おらほの絵てがみ展
～長瀬れい子と仲間たち～
☎0225-57-3211(雄勝硯伝統産業会館)

26日(土) 石巻市●遊楽館
**こもれびフォーラム
ヒルズコンサート**
☎0225-72-3561(遊楽館)

27日(日) 女川町●マリンパル女川お祭り広場
女川のまつり「春のまつり」
☎0225-53-4033(商工観光課)

中旬～ 石巻市●日和山公園
日和山公園観桜期間
(夜9時までライトアップ)
☎0225-95-1111[内線287・288]
(石巻市産業部観光課)

5月

3日(土)～5日(月) 石巻市●神割崎キャンプ場
南三陸朝霧まつり
☎0225-67-2114
(石巻市北上総合支所産業建設課)

24日(土)～25日(日)
石巻市●サン・ファンパーク及びサン・ファン館
サン・ファン祭り
☎0225-24-22100(サン・ファン館)

